平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月9日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成24年11月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	17,548	△1.5	485	△19.8	310	△21.9	173	△4.7
24年3月期第2四半期	17,817	5.9	605	△19.7	397	△37.9	182	△40.9

(注)包括利益　25年3月期第2四半期　156百万円　(44.5%)　24年3月期第2四半期　108百万円　(△24.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	8.15	―
24年3月期第2四半期	8.55	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	42,556	8,184	19.1
24年3月期	42,962	8,155	18.9

(参考) 自己資本　25年3月期第2四半期　8,127百万円　24年3月期　8,101百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
25年3月期	―	0.00			
25年3月期(予想)			―	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成25年 3月期の連結業績予想(平成24年 4月 1日～平成25年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,900	0.2	1,220	3.9	870	13.2	490	203.3	22.97

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期2Q	21,350,000 株	24年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	25年3月期2Q	14,947 株	24年3月期	14,947 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期2Q	21,335,053 株	24年3月期2Q	21,335,980 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続きを実施中であります。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(参考)個別業績

平成 25 年 3 月期の個別業績予想(平成 24 年 4 月 1 日～平成 25 年 3 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	35,200	2.8	920	23.6	720	45.9	460	846.9	21.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 3
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9
（６）セグメント情報等 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間の我が国経済は、欧州債務問題や中国をはじめとする新興国経済の減速から外需が低迷する中、震災復興特需やエコカー補助金などに支えられ内需主導の緩やかな景気回復が続きました。

しかし、円の高止まりと海外経済の長引く停滞から、依然として外需の持ち直しの動きがみられない中、国内においても、復興需要の継続こそ期待できるものの、エコカー補助金の終了に伴う個人消費の悪化懸念など、景気回復基調を維持できるか否か楽観の出来ない状況となっております。

化学業界におきましても、世界経済の減速に伴う石油化学製品の需要減退、また、国内では安価な輸入品との競合激化など、経営環境はますます厳しさを増しており、企業は生き残りをかけて、国内事業の再編や海外での生産拠点の拡充など、厳しい対応を迫られております。

このような経営環境下、当社グループの売上高は、主力の界面活性剤セグメントをはじめ樹脂、スペシャリティーケミカルの各セグメントは増収となりましたが、化成品セグメントが、合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤の海外向け販売の落ち込みを主因に大幅な減収となりました。その結果、当第２四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比２億68百万円、1.5%減収の175億48百万円となりました。

利益面は、売上が苦戦する中、前期完成した設備の減価償却費等の固定費の増加、および一部製品の減産の影響により減益となりました。

その結果、当第２四半期連結累計期間の営業利益は、前年同期比１億19百万円減益の４億85百万円、経常利益は、前年同期比87百万円減益の３億10百万円、四半期純利益は、前年同期比８百万円減益の１億73百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用新基剤の販売増と前年同期に原料不足問題で大きく落ち込んだ一般洗浄剤の回復により増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤が伸び悩み、乳化重合剤も海外需要向けが振るわず、減収となりました。土木建築用薬剤は、コンクリート関連薬剤が好調に推移し増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は、サイズ剤の販売低迷を主因に減収となりました。農薬助剤は、乳剤用などの海外需要向けが引き続き伸長しました。繊維助剤はほぼ横這いでした。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比６億63百万円、7.3%増収の96億99百万円となり、セグメント利益は、前年同期比３億40百万円増益の５億24百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、前年同期の原料不足による減産の落ち込みからの回復で増収となりました。合成樹脂は、業務用電気製品関連の断熱フォーム用ウレタン樹脂が好調で増収となりました。樹脂エマルションは、金属表面処理剤や複写機トナー用添加剤などが振るわず、減収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比１億25百万円、7.5%増収の18億５百万円となり、セグメント損失は、１百万円(前年同期はセグメント損失43百万円)となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、海外向け販売の落ち込みと原料価格下落に伴う売価低下により、大幅な減収となりました。金属加工油剤は、水溶性切削油剤が堅調に推移し増収となりました。石油添加剤は、潤滑油用は伸長したものの、脱ロウ助剤などが振るわず減収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比11億90百万円、37.1%減収の20億17百万円となり、セグメント利益は、前年同期比１億30百万円減益の17百万円となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、電子材料用や医薬品製造用が低調でしたが、ブレーキ液用などその他溶剤の販売増により、増収を確保しました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、需要が全般的に底堅く推移し増収となりました。また、アクリレートも電子情報材料向けが大口ユーザーからの受注回復に伴い増収となりました。

その結果、セグメント全体の売上高は、前年同期比１億34百万円、3.5%増収の39億88百万円となり、セグメント損失は、58百万円（前年同期はセグメント損失72百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当第２四半期連結会計期間末の総資産は425億56百万円と前期末比４億６百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が13億５百万円減少の216億３百万円、固定資産が８億99百万円増加の209億52百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が６億20百万円の減少、受取手形及び売掛金が74百万円の減少、たな卸資産が４億９百万円の減少です。固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が９億96百万円の増加、投資その他の資産が１億13百万円の減少です。

一方、負債合計は、343億71百万円と前期末比４億35百万円の減少となりました。主な増減要因は、支払手形及び買掛金が１億11百万円の増加、短期借入金が73百万円の減少、設備関係支払手形の減少を主因とするその他（流動負債）が３億54百万円の減少です。

純資産は、81億84百万円と前期末比28百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の45百万円の増加、その他の包括利益累計額が19百万円の減少です。

その結果、自己資本比率は19.1％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は45億44百万円となり、前連結会計年度末と比較して６億11百万円の減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は18億12百万円の収入（前年同期比９億58百万円の収入増）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益２億93百万円、減価償却費８億80百万円、たな卸資産の減少４億24百万円等であり、主なマイナス要因は、利息の支払額１億79百万円、法人税等の支払額１億61百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は22億10百万円の支出（前年同期比８億22百万円の支出増）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出22億90百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は２億42百万円の支出（前年同期は８億４百万円の収入）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額４億19百万円、長期借入れの純増額４億21百万円、配当金の支払額１億28百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

第３四半期以降の経営環境につきましては、中国をはじめとする海外経済の減速や円高の国内景気への影響から、当初業績予想の時点よりも一段と厳しくなるものとみており、売上高、利益面の下振れは避けられないものと予想しております。

その結果、平成24年５月11日の「平成24年３月期　決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表いたしました平成25年３月期の通期業績予想を連結、個別ともに修正しております。

２．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,847	5,227
受取手形及び売掛金	9,535	9,460
たな卸資産	6,724	6,315
その他	802	601
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,909	21,603
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,283	7,108
機械装置及び運搬具（純額）	3,228	2,976
土地	3,319	3,281
建設仮勘定	1,251	2,822
その他（純額）	1,683	1,573
有形固定資産合計	16,766	17,762
無形固定資産	662	678
投資その他の資産	2,624	2,510
固定資産合計	20,053	20,952
資産合計	42,962	42,556

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成24年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成24年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,400	7,512
短期借入金	5,532	5,458
未払法人税等	166	113
賞与引当金	322	338
その他	3,465	3,110
流動負債合計	16,887	16,533
固定負債		
社債	4,320	4,220
長期借入金	9,036	9,130
退職給付引当金	2,838	2,884
役員退職慰労引当金	144	123
資産除去債務	56	54
その他	1,523	1,424
固定負債合計	17,919	17,838
負債合計	34,807	34,371
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,394	5,440
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,042	8,088
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	172	81
為替換算調整勘定	△113	△42
その他の包括利益累計額合計	58	39
少数株主持分	54	56
純資産合計	8,155	8,184
負債純資産合計	42,962	42,556

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
売上高	17,817	17,548
売上原価	15,193	14,999
売上総利益	2,623	2,549
販売費及び一般管理費	2,018	2,063
営業利益	605	485
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	18	20
物品売却益	12	15
その他	17	21
営業外収益合計	50	59
営業外費用		
支払利息	166	177
その他	92	57
営業外費用合計	258	235
経常利益	397	310
特別利益		
投資有価証券売却益	2	－
特別利益合計	2	－
特別損失		
固定資産廃棄損	4	4
投資有価証券評価損	－	11
投資有価証券売却損	1	－
固定資産売却損	－	1
災害による損失	52	－
特別損失合計	58	16
税金等調整前四半期純利益	341	293
法人税等	152	119
少数株主損益調整前四半期純利益	188	174
少数株主利益	6	0
四半期純利益	182	173

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	188	174
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△90	△91
為替換算調整勘定	10	73
その他の包括利益合計	△80	△17
四半期包括利益	108	156
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	101	154
少数株主に係る四半期包括利益	6	2

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341	293
減価償却費	865	880
貸倒引当金の増減額（△は減少）	0	△19
賞与引当金の増減額（△は減少）	△39	16
災害損失引当金の増減額（△は減少）	△110	－
退職給付引当金の増減額（△は減少）	△27	46
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△5	△20
受取利息及び受取配当金	△20	△22
支払利息	166	177
投資有価証券売却損益（△は益）	△1	－
投資有価証券評価損益（△は益）	－	11
固定資産廃棄損	4	4
有形固定資産売却損益（△は益）	－	1
売上債権の増減額（△は増加）	△85	85
たな卸資産の増減額（△は増加）	△814	424
仕入債務の増減額（△は減少）	849	110
その他	31	142
小計	1,154	2,130
利息及び配当金の受取額	20	22
利息の支払額	△164	△179
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△156	△161
営業活動によるキャッシュ・フロー	853	1,812
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△8	△16
定期預金の払戻による収入	－	26
有形固定資産の取得による支出	△1,219	△2,290
有形固定資産の売却による収入	－	58
無形固定資産の取得による支出	△4	△11
投資有価証券の取得による支出	△112	△4
投資有価証券の売却による収入	10	－
関係会社出資金の払込による支出	△86	－
その他	32	28
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,387	△2,210
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△14	△419
長期借入れによる収入	2,350	1,750
長期借入金の返済による支出	△1,359	△1,328
社債の発行による収入	－	588
社債の償還による支出	－	△600
リース債務の返済による支出	△43	△104
配当金の支払額	△128	△128
その他	△0	－
財務活動によるキャッシュ・フロー	804	△242
現金及び現金同等物に係る換算差額	0	29
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	270	△611
現金及び現金同等物の期首残高	4,294	5,156
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,565	4,544

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

（６）セグメント情報等
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成23年４月１日　至　平成23年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,035	1,679	3,207	3,853	17,776	41	17,817	－	17,817
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	103	103	△103	－
計	9,035	1,679	3,207	3,853	17,776	144	17,921	△103	17,817
セグメント利益又は損失（△）	184	△43	148	△72	217	25	242	363	605

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額 363百万円には、棚卸資産の調整額 305百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,699	1,805	2,017	3,988	17,509	39	17,548	－	17,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	122	122	△122	－
計	9,699	1,805	2,017	3,988	17,509	161	17,671	△122	17,548
セグメント利益又は損失（△）	524	△1	17	△58	482	33	515	△30	485

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析および物流倉庫業務等を含んでおります。
２．セグメント利益又は損失（△）の調整額 △30百万円には、棚卸資産の調整額 △10百万円等が含まれております。
３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。